

2019年3月28日

平成31年度 社会福祉法人「聖愛会」事業計画

平成30年度、医療と介護の一体化を図るため、第7次医療計画と介護保険事業計画が開始され、団塊の全世代が75歳以上になる2025年を見据えた、医療介護機能の分化・連携と地域包括ケアシステムの構築を一体的に推進するための地域医療構想が策定される。今後、増加が見込まれる慢性期の医療・介護ニーズへの対応のため、日常的な医学管理が必要な重度介護者の受入れや看取り・ターミナル等の機能と生活施設としての機能を兼ね備えた、多様性をもった対応ができる施設運営が求められます。

当法人としては本年1月より実施した、グループ化にて医療と介護の一体的かつ効率的な運営を行うことを目的とし、当地域における在宅で居住している高齢者を医療と介護の両面を支える施設として、新たな地域医療介護支援をすすめていきます

【2019年度の取り組み】

- 1) セラピストによるリハビリ機能の強化
- 2) 介護職員の育成及び介護力強化
- 3) 施設利用率を安定させる為の様々な取組を行う
- 4) 施設整備を行い、利用者及び職員の環境改善
- 5) 広報活動の充実